

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

NO.323

研究課題名	日本骨折治療学会運動器外傷データベース [Database of Orthopaedic Trauma by Japanese Society for Fracture Repair (DOTJ)] における四肢長管開放骨折症例の登録事業
当院の研究責任者	所 属 : 整形外科 氏 名 : 今泉 秀樹
他の研究機関および各施設の研究責任者	一般社団法人 日本骨折治療学会
本研究の目的	四肢長管骨開放骨折は感染しやすいこと、骨癒合しにくいこと、軟部組織の修復・再建を同時に行わなければならないことから、難治であり質の高い医療が必要とされる外傷である。したがって開放骨折症例を全国規模で登録することにより、四肢外傷治療の現状を把握できると考えられる。本登録により四肢長管骨開放骨折の治療方法、合併症、治療結果、治療結果に影響する因子などが明らかになる。得られた情報により、本邦の医療水準が明らかとなり、各施設や各地域の間での比較、将来的には経年的な比較を行い、医療の進歩を検証することも可能になる。個々の治療法のみならず人的・物的資源の適切な配置等の医療体制を含めた問題に対して、根拠に基づいた改善方法を医療者および社会へ示すことが可能になる。以上のことにより、本邦の四肢外傷の治療成績の向上が期待できる。
対象者	当院で治療した四肢長管骨新鮮開放骨折の患者
調査データ 該当期間	西暦2015年 2月19日 ~
研究の方法	受傷から 3 週間以内の四肢長管骨新鮮開放骨折の患者を対象とし、全例をデータベースに登録

<p>使用する試料等</p>	<p>(1)患者背景データ（年齢，性別，誕生月，職業，基礎疾患，喫煙，保険） (2)外傷データ（受傷日時，受傷機転，合併外傷） (3)開放骨折データ（骨折側:右側・左側，骨折部位及び型・分類，開放骨折分類，抗菌薬使用状況） (4)手術データ（手術日時，術前状態分類，開放創処置，骨折処置） (5)結果（追加手術，感染，切断，骨癒合時期，復職時期，復職職業，機能評価，QOL 評価） 氏名や生年月日などの個人が特定される項目はない。</p>
<p>試料情報の他の研究機関への提供および提供方法</p>	<p>対象患者のデータを，インターネット上にある学会の専用登録サイトから登録する。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>匿名化する。</p>
<p>本研究の資金源（利益相反）</p>	<p>特になし</p>
<p>お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）</p>	<p>住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 整形外科 今泉 秀樹</p>
<p>備考</p>	